

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年01月06日

計画の名称	地域の活力と快適な暮らしを支える安全、安心なみちづくり											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	小山町											
計画の目標	地区間を連結する補助幹線道路、及び、地域住民(町民)の生活拠点における主要な道路の整備や歩道設置等を推進して安全かつ円滑な通行を図るとともに、災害等の緊急時における避難地等の拠点への輸送、連絡ルートとしての機能を確立し、快適で安心して暮らせる町づくりに寄与する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,552	A	2,552	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)
1	・ 中心市街地における主要道路の歩道整備を行い、歩行者通行の安全性向上を図る。 各地区の中心市街地にある小中学校周辺の主要道路歩行者安全率を70%以上に向上する。 歩行者安全率 = (主要道路の歩道整備延長) ÷ (主要道路の全延長) 歩行者安全率 = 主要道路歩道整備率とする。 対象路線は、各地区小中学校から直径1km圏内の主要道路とする。	60%	%	71%
2	・ 災害時に大型バス、トレーラーのアクセス可能な避難地箇所を増加を図る。 災害時に大型バス、トレーラーのアクセス可能な避難地箇所の箇所数割合を80%以上に向上する。 箇所数割合 = (大型バス、トレーラーアクセス可能な避難地箇所数) ÷ (避難地箇所総数)	75%	%	83%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	小山町	直接	小山町	S街路	改築	(都)大胡田用沢線	道路拡幅 0.5 km	小山町						610		-	
	A01-002	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道	改築	(他)3975号線	道路拡幅 1.6 km	小山町						300		-	
	A01-003	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道	改築	(2)用沢大御神線	道路拡幅 0.6km	小山町						322		-	
	A01-004	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道	改築	(1)大胡田用沢線	道路拡幅 0.9 km	小山町						309		-	
	A01-005	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道	改築	(1)足柄三保線	道路拡幅 0.6 km	小山町						461		-	
	A01-006	道路	一般	小山町	直接	小山町	市町村道	改築	(他)2416号線ほか1路線	道路拡幅 1.0 km	小山町						550		-	
											小計						2,552			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
小山町において、目標の達成状況と指標の達成状況を確認。	令和6年10月
	公表の方法
	町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大胡田用沢線、用沢大御神線の整備完了により、北郷地区の北郷小・中学校の学生が利用する通学路の事故発生件数が1件（H28～R2）から0件（R3～R6）に減少し、中心市街地における歩行者通行の安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	大胡田用沢線、用沢大御神線の整備完了により、避難地である北郷小学校と緊急輸送道路である国道246号を結ぶルートを確立した。
特記事項（今後の方針等）	
一部の未完了路線においては、他計画（計画124、157）へ移行しており、以後、定量的指標の達成状況については他計画で評価する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	71%	整備完了予定とした路線のうち、他事業との連携が必要であり、計画期間内に事業着手まで至らなかったため。引き続き歩道計画を推進するとともに、ソフト対策として交通ルールの周知を図る。
	最終実績値	68%	
2	最終目標値	83%	整備完了予定とした路線のうち、他事業との連携が必要であり、計画期間内に事業着手まで至らなかったため。引き続き他事業との調整を図り事業を推進する。
	最終実績値	75%	

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	地域の活力と快適な暮らしを支える安全、安心なみちづくり		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）	交付対象	小山町

